

令和6年度9月号 [9月15日(発行)]



東風だより

川口市立東中学校
川口市東本郷2-20-47番地
TEL 048-281-4065
特別支援学級 285-2423
さわやか相談室 281-4627
<http://www.sch.kawaguchi.saitama.jp/higashi-j/>

聞く

校長 柳田 勇

9月に入っても不安定な天候が続き、秋の訪れが待ち遠し限りでございます。朝夕の寒暖差もあり、体調を崩されないよう気を付けていただけたらと存じます。

夏季休業中は、三者面談、部活動の県大会・関東大会、2年生の水上自然教室など、生徒の様々な活躍を見ることができました。その姿に、私自身、勇気をもらった次第です。2学期の始業式では、「応援される人」になりましょうと生徒に話しました。応援したくなる人は、周囲へよい影響を与えられる人だと思います。一人一人が「応援される人」になれば、東中学校はさらに良くなると思っています。保護者・地域の皆様も、生徒たちを温かく見守っていただけたらと思っております。

さて、今年度、本校では生徒に身につけさせたい力として、「聞く」ことを学校全体のテーマとして取り組んでおります。2学期をスタートするにあたり、1学期の様子を教職員で確認しました。どの学年も、聞く姿勢（体を向ける・話している人を見る）はよくできていると感じております。しかし、内容を理解して聞いているかという点において、不安だという話になりました。一つの例を申し上げます。これから行う作業の説明を一通り行い、「では始めましょう」と一声かけると、生徒から「何をすればいいのですか」と質問されることが多いという話が上がりました。

人の話を聞くことは、「理解しようとして聞く」と「聞いている」の状態があると思います。そこには興味のあるなしや、疑問に思うかどうかなどで変わってくると思います。どのような心構えで聞くかにより、違いがでるのは当然です。先述したように、聞く姿勢がよいと、話をしている側は「しっかり聞いているなあ」と感じる人が多いです。しかし、1学期の様子より、「理解して聞く」ことまではできていないことがわかりました。

当然のことですが、聞く姿勢がよくなければ、理解しようとする気持ちにはならないと思います。現在の成果として、「理解して聞く」準備は整っているのだと思います。次は心の準備です。人には得意・不得意、好き・嫌いがあります。苦手なことからは逃げたくなり、自ら「分からない」という理由で聞き流してしまうこともあると思います。私も講演などを聞いているとき、その時の心の持ちよう、同じ時間であっても長く感じたり、短く感じたりします。そのため、私は講演の時はメモを取るよう心掛けています。メモを取る習慣が身につくと、何をメモし、どのように要点をまとめるか考えながら聞くことになります。もしかしたら、生徒たちも、授業中の板書のみならず、気になったことをメモすることで聞き方も変わるのかもしれませんが。私たちも魅力ある授業を実践し、生徒たちの「理解して聞く」ことにつなげていきたいと思っております。保護者・地域の皆様も、生徒との会話の後、さりげない聞き直しをお願いできればかと存じます。